

スクールカウンセラー等活用事業

平成26年度予算額 4,113百万円

補助率：1/3

家庭(保護者)

教職員

助言・援助

助言・援助

スクールカウンセラー等配置事業

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者
児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者に対する助言・援助

■中学校へ配置

- ・公立中学校週5日体制の導入
 - ・小中連携型配置の導入(週3日勤務(中学校1校と小学校2校を担当))
- 10,000校(全校)
- | | | |
|-------------|-------|-----|
| 9,600校(従来型) | 週5日体制 | 中学校 |
| 200校(週5日体制) | 小中連携型 | 中学校 |
| 200校(小中連携型) | 小学校 | 小学校 |

■小学校へ配置

- 13,800校
- | | |
|--------------|------|
| 13,400校(従来型) | 小中連携 |
| 400校(小中連携型) | |

■緊急支援派遣 201校(前年度同数)

■校内研修(中学校6,000校)

教員のカウンセリング能力等の向上を図る校内研修の実施

■教育プログラムの実施(中学校335校)

児童生徒の困難・ストレスへの対処方法に資する教育プログラムの実施

「生徒指導推進協力員・学校相談員の配置」事業

335箇所(都道府県・市町村各5箇所)

教育委員会等から課題のある学校等に派遣

警察官OBや教員OB等の活用

児童生徒が悩みや不安を気軽に相談できる話相手、
児童生徒の非行・問題行動等の早期発見、緊急時の対応



カウンセリング

相談

相談

児童生徒

相談

相談

非行行為の早期発見
緊急時対応

24時間いじめ相談ダイヤル事業

- ・全児童生徒に相談ダイヤルカードの配布(全学年分)(4学年分)
- ・全国统一ダイヤル
- ・24時間体制での教育相談を実施 67県市



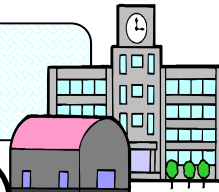
スクールソーシャルワーカー活用事業

平成26年度予算額 : 394百万円 (平成25年度予算額355百万円)

補助事業者：都道府県・指定都市・中核市

補助率：1/3

学校



【校内体制づくり】

- ・校内チーム体制の構築
- ・教職員のサポート
- ・教職員等への研修 など

連携・調整



連携・調整

関係機関



児童相談所、福祉事務所、
保健・医療機関、適応指導教室、
警察、家庭裁判所、保護観察所 等

【関係機関との連携】

- ・ネットワークの構築
- ・関係機関との調整
- ・情報・行動連携 など

スクールソーシャルワーカー

配置人数：1,466人

教育と福祉の両面に関して、専門的な知識・技術を有するとともに、
過去に教育や福祉の分野において、活動経験の実績等がある者

いじめ
暴力行為
不登校
児童虐待 等

児童生徒が置かれた様々な環境の問題への働き掛け

児童生徒

友人

家庭

地域

